



はなのき通信

2022年6月 発行 第151号

編集・発行：あいち国際交流はなのき会

URL <http://www.aichinet.ne.jp/~hananoki/>

Eメール hananoki@aichinet.ne.jp

ウクライナとロシア

会長 金田文子

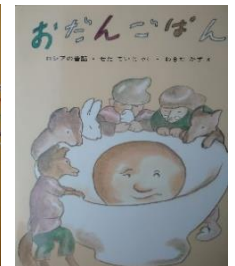


いのち輝く季節を迎え、会員の皆様にはますますご活躍のことと拝察申し上げます。新体制がスタートしました。新役員・運営委員各位の建設的なご発言、スピード感ある事務遂行により、信頼と感謝の気持ちで会長を務めさせていただくことができます。

さて、ここ数カ月のウクライナの惨状には心が苦しくなるばかりです。侵攻のロシア軍が医療機関や教育機関を破壊し、子どもや高齢者まで生命が脅かされています。これが文明社会の有り様かと希望を失いそうになります。エネルギーや食糧の危機、安全保障など様々な懸念が世界で渦巻いています。平和への祈りとできることの実行で、はなのき会も一歩前へ進むことができれば喜ばしいと考えます。

3月のウクライナ支援緊急募金活動に続き、初冬にチャリティコンサートを開こうという提案がありました。総会でご承認いただきました諸活動と併せて、運営委員会で企画の検討を重ねます。会員のウクライナへの想いが形にできますよう、皆様のご支援をお願いいたします。

子どもの本棚にウクライナとロシアが並んでありました。ウクライナ民話「てぶくろ」とロシア昔話「おだんごぼん」です。ウクライナにもロシアにも穏やかな日々が戻り、子どもたちが温かな膝の上で、これらのお話を再び聴かせてもらえる日が来ることを祈りつつながめました。お話会にやってくる子どもたちは、相変わらず元気で自由です。日本が戦争をしない国であり続けるよう願わずにはられません。



はなのき会 30年在籍表彰



谷中ひさ子 様
平成9年愛知県
国際交流女性海外
派遣事業でオース

トラリア・ニュージーランドへ。その10日間に9回飛行機を乗り継ぎ、9か所公式訪問したことは、今より30才若かったとは言え大変ハードなものでした。その後のはなのき会の活動は、私に素晴らしい人達との出会いと勉強の機会を与えてくれました。



小森洋子 様
オーストラリア
とニュージーラン
ドに派遣され、は

なのき会に入会して、いつの間にか30年が過ぎていました。色々な国の人と出会い、話し、理解し、歌い、踊り、笑い、怒り、悲しみ、助け合って、多くの人と支え合って生きている。まずはお互いの違いを認め、理解する事の大切さを教えてもらいました。感謝しかありません。



服部富久美 様
県の海外派遣
に参加したのが
縁で入会し、あれ

から30年になるのですね。その間、先輩方には多くの教をいただき、同期の人たちには共に学ぶことの喜びを教えていただきました。70歳に手が届きそうですが、あの頃のワクワクした気持ちを、今回の表彰をきっかけに、もう一度呼び起こしたいと思う昨今です。

2022年度 総会・講演会

<日時>2022年4月16日(土)9:30~11:50
<場所>ウィルあいち2階特別会議室

2021年はコロナ禍の1年間ではありましたが、新しい活動を模索しつつ務めあげました。

2022年は、「国際交流で平和な世界へ」を年間スローガンとして、多文化共生、人道支援を目標にして新たなスタートを切りました。

伊藤久代前年度会長の挨拶の後、来賓の県民文化局女性の活躍促進監の山口智絵子様から親しみを込めた温かい祝辞を、もうお一人の来賓の公益財団法人あいち男女共同参画財団理事長高橋智保様からは、励ましの祝辞をいただき、心地よい緊張の中で、総会はスタートしました。

<参加者数> 会員73名中45名の出席（委任状提出者18名）

<審議結果> 油田叔子議長の進行により、すべて可決されました。

<その他> 30年在籍者の表彰、新入会員の紹介

第2部では、「小さな国アイスランドに学ぶ～ジェンダーと環境問題を中心に～」を演題とした元在ノルウェー大使館大使アイスランド駐在の夏目勝弘氏のご講演を拝聴しました。

80分間という短い時間に、アイスランドの自然、各分野での世界一になるまでの経緯と現況、SDGsの取り組みの実際、そのための人材はどのように育てられるのか等々、多くのスライドを映しながらのご講演でした。ジェンダーギャップ指数10年連続世界一位（日本は149か国中110位）は、女性たちが身をもって声を上げた結果であるとの話、初代女性大統領と面談された話もありました。環境問題では豊富な地熱利用の現状と、日本でもそれができないかという話にも魅かれました。

自己紹介代わりに、退官まで外交官として勤務された6か国のお話も興味深いものでした。どの国にも深い思い入れを持ち、多くの体験を重ねられたことが窺えました。最初はアメリカ・マンハッタンにある国連代表部での勤務で、当時の国連事務次長の明石康氏、国連難民高等弁務官だった緒方貞子氏との出会いの中で、外交官としての原点を学ぶことができたそうです。最後の赴任地アイスランドは、素晴らしくて最も好きな国だとおっしゃって、盛りだくさんのお話をしてくださいました。

「年間報告書」でも内容を紹介します。

(名古屋ブロック幹事 松原・清水)

集合写真



講演会の様子



金田新会長を中心に新役員の皆さん



2022年度 活動計画のお知らせ

7月

セミナー I

トークライブ「今を、生きる」
ブラジル人初の公立学校教員（県立御津高校）
伊木ロドリコ氏
日時：7月16日（土）13:00～14:30
場所：豊川プリオ4階視聴覚室
担当：運営委員会・東三河ブロック

8月

見学会

「日本伝統の帆前掛けを世界へ、未来へ」
縁 ing（エニシング）豊橋前掛け工場他
日時：8月5日（金）10時頃～15時半頃
JR 二川駅集合
場所：豊橋市二川の旧宿場町界限
担当：東三河ブロック・日本伝統文化研究会

ワクワクする企画
が決まったよ！

10月

国内スタディツアー

福井県大安禅寺 新命和尚の生き生き法話と精進料理 ～笑うは心の掃除なり～
日時：10月23日（日）集合：8時15分 名古屋駅新幹線西口
募集人数：30名 担当：運営委員会・尾張ブロック

11月

ナターシャ・グジー チャリティコンサート for ウクライナ

日程：11月23日（水・祝日） 会場：名古屋能楽堂

12月

はなのきセミナーII

南極の氷に何が起きているか、気候変動と氷床の科学 講師：杉山慎氏（北海道大学教授）
日程：12月17日（土） 場所：JICA 中部 担当：運営委員会・名古屋ブロック

ウクライナへ
はなのきの思い
を届けよう！

★人道支援の募金について

創立以来、当会では募金、物資などで困難な国々を支援してきました。2021年度には、ロシアの侵攻によるウクライナの惨状を目にして、急ぎよ会員から寄付を募り30万円をUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）に送りました。4月16日の総会では会員より計24,206円のご寄付を頂きました。ここに報告いたします。本年度は、年間を通じて募金活動を行います。

身近な多文化共生

今回はコスモス会の紹介です。

国際交流コスモス会はTUT（豊橋技科大）留学生の家族との交流をするために1991年11月に発足し、地域に住む外国の方にも参加していただいています。季節ごとの行事や日本の文化を盛り込んだ年間スケジュールに基づき、毎週金曜日午前中にアイプラザ豊橋にて活動しています。会員数は流動的ではありませんが8人～16人くらいでしょうか。

特に人気があるのは料理教室と民族衣装の着付けです。料理教室の時は、日本語と英語のレシピを作るのにとっても苦勞します。日本料理ばかりではなく外国料理も有ります。日本料理は私が教えますが外国料理はその国の人が教えてくれます。その時は事前に作る所を見せていただいてレシピを起こしています。また民族衣装の着付け時、浴衣は着付けの先生に指導して頂き、サリーなどの時はその国の方に教えて頂いています。コスモス会では日本の事はこちらで、外国の事はそれぞれの国の方に教えて頂くということでお互いを頼りにしています。

今、心配な事はメールが届かないウクライナ人の家族の消息が掴めないことです。彼らの無事を祈るばかりです。



（コスモス会代表 小久保美知代）

部会・研究会からのお知らせ

担当：環境問題研究会・名古屋ブロック

「花桃と木曾川水力発電所物語」～電力王福沢桃介と日本初の女優川上貞奴～

4月26日9:30名古屋駅。曇り空でしたが、久しぶりの出会いもあり賑やかに出発しました。ツアーコンダクターの熱のこもった説明を聴きながら、中津川恵那山麓の照寿庵に到着。さながら同窓会気分で懐石弁当を味わい、楽しい時間を満喫しました。美庭の花桃は終わりかけで、今年は？と心配しましたが、帰路では純粋木伝承者が植えた満開の花桃を楽しむことが出来ました。

【桃介橋の見学】読書（よみかき）発電所の資材運搬路として架設。木製吊り橋として日本有数の長大橋。

【桃介記念館】桃介と川上貞奴が過ごした別荘。発電所建設の現場に立った福沢桃介と、事業のパートナー川上貞奴の生活の様子が想像できました。【福沢桃介が手がけた水力発電所】大正8年の賤母発電所を最初に、大桑、須原、桃山、読書、大井、落合と次々と発電所が建設され、読書発電所は平成6年に国の重要文化財に指定されました。

※ 車中で紹介された神津カンナ著「水燃えて火 - 山師と女優の電力革命」中央公論新社には、川上貞奴が女性実業家としてだけでなく、凜とした女性像として紹介され、印象深い著作です。

環境部会
名古屋ブロック
(生田ふみ)

《日本伝統文化研究会》

5月26日 六華苑&諸戸氏庭園巡り

7月18日(海の日) 狂言鑑賞 (野村又三郎社 也留舞会)

8月5日 見学会「日本伝統の帆前掛けを世界へ、未来へ」(豊橋) (波多野美津子)

✿中日新聞掲載！ 大正琴「琴歌会」和音響かせ40年

大正琴の流派「琴伝流派」で、県内に3人しかいない上席大師範である佐治勝代さんが講師を務める「琴歌会」が全国大会に向け練習に励む姿が掲載されました。(2022年3月18日)

《環境問題研究会》

2022年度テーマは、「SDGsを身近に考えよう」です。第1回目は、6月11日に愛・地球博記念公園の「もりの学舎」見学に行きます。随時、ご案内します。(荻野留美子)

《IENの会》 会員募集！

ホームステイの受け入れをされた方は森崎まで連絡をお願いします。現在、IENの会では一緒に活動して下さる会員を募集しています。是非一緒にやりませんか！(森崎芳子)

《マルチメディア部会》

メーリングリスト担当は向井あつ子さんです。 amukai0325@gmail.com ML: 54名(会員71名)

※ML aichihananokikai@googlegroups.com 今年度もMLでの情報発信を期待します。

ホームページの更新をし、パソコンやMLの疑問にお応えします。池上 kanon@nifty.com



おめでとうございます！伊藤久代(前会長)さんが藍綬褒章を受章されました。

《年会費納入のお願い》 年会費未納の方は下記まで振込みをお願いします。

ゆうちょ銀行 名義：あいち国際交流はなのき会 記号：12170 番号：89460161

編集後記：今年度は早くから、はなのき活動の日程が決まっています。皆様のスケジュールに加えて下さるようお願いします。本年度もご指導・ご協力のほどよろしくお願いします。(書記より)